

# 地域におけるオープンデータ推進支援

総務省 地域情報化アドバイザー  
一般社団法人 コード・フォー・ジャパン 理事  
一般社団法人 シビックテックジャパン 理事  
Code for Ikoma 代表  
YuMake合同会社 代表社員 CEO  
佐藤 拓也

# 佐藤 拓也 Takuya Sato



幼い頃から気象に憧れ大学院まで気象を学ぶ。SE、民間気象情報会社を経て独立し、YuMake合同会社を設立。居住地の奈良県生駒市で、CODE for IKOMAを立ち上げ。

総務省 地域情報化アドバイザー

YuMake合同会社 代表社員 CEO

一般社団法人コード・フォー・ジャパン理事

一般社団法人シビックテックジャパン理事

Code for Ikoma 代表

大阪市立大学 都市防災教育研究センター 特別研究員

株式会社 地域計画建築研究所 STO



civic tech japan



CODE for IKOMA



Center of Education and Research for Disaster Management

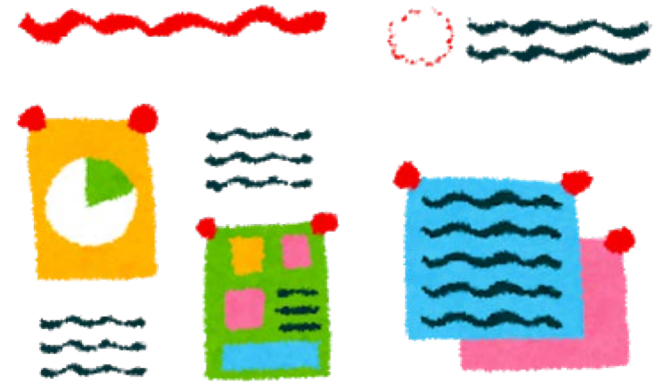


オープンデータを公開するために、  
あなたはどのようにして  
上司や原課の人たちを説得していきますか？



# 説明する必要があること

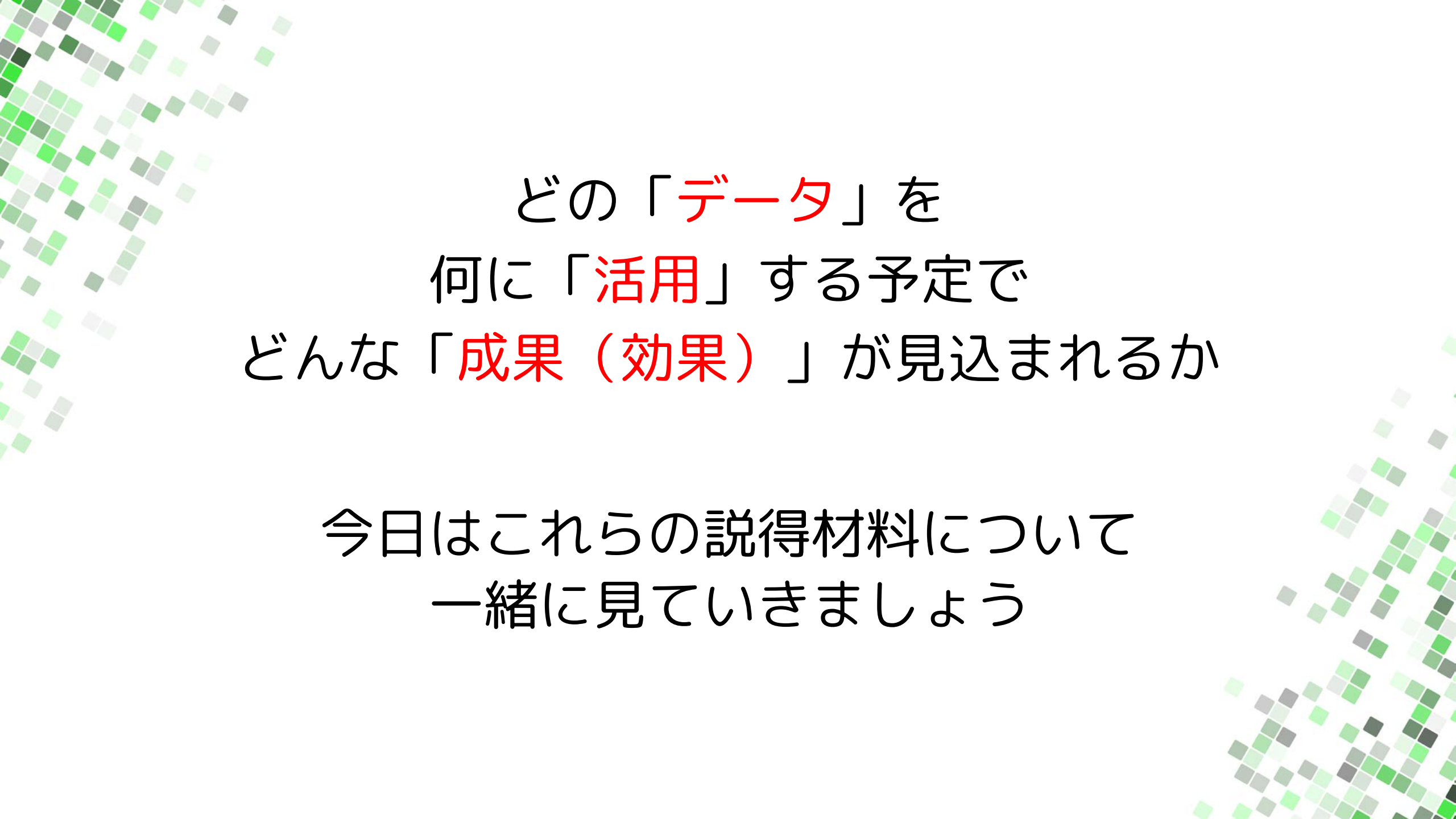
どの「データ」を  
何に「活用」する予定で  
どんな「成果（効果）」が見込まれるか



いきなり説明できるはずはありません。。。。







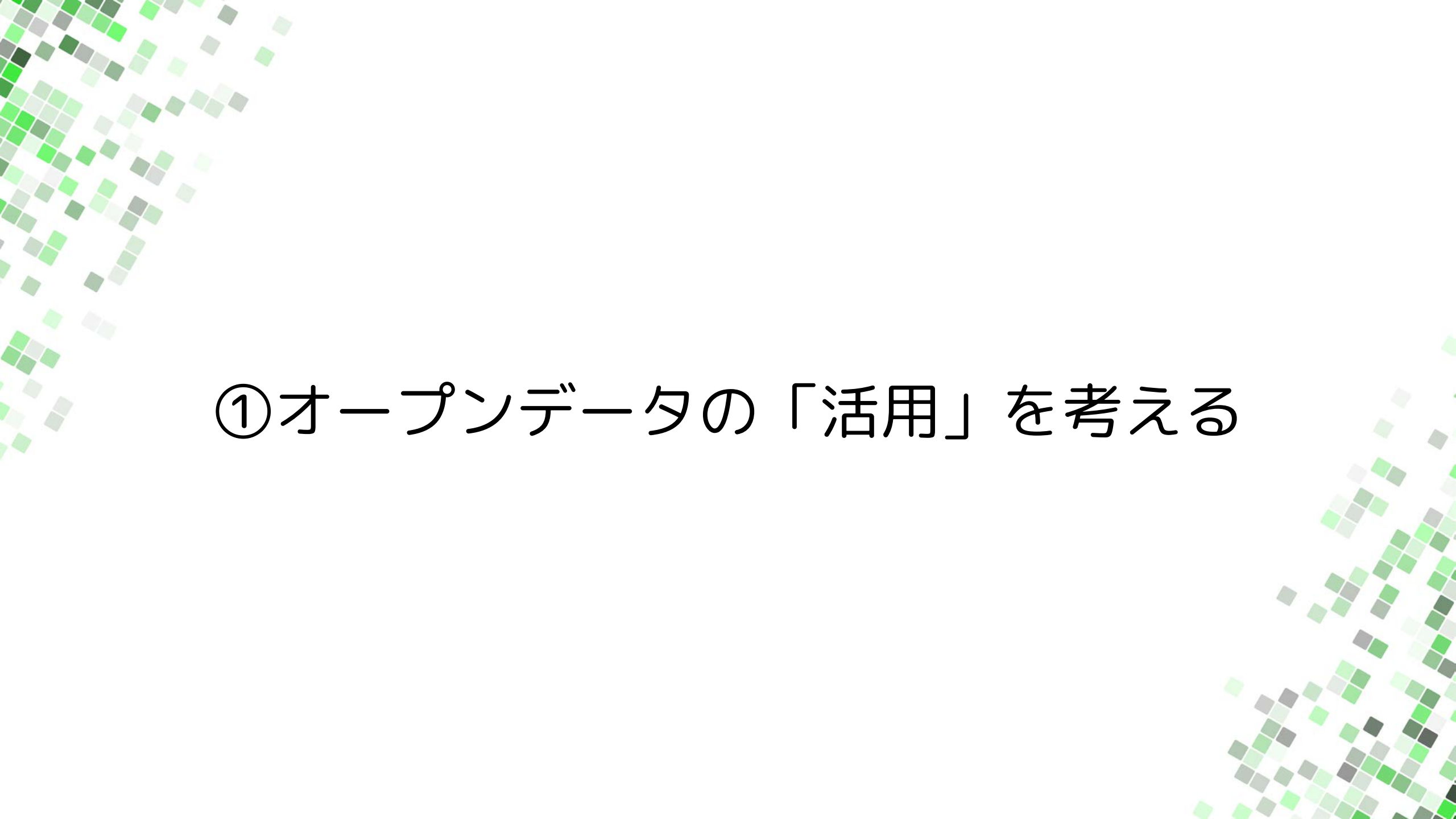
どの「データ」を  
何に「活用」する予定で  
どんな「成果（効果）」が見込まれるか

今日はこれらの説得材料について  
一緒に見ていきましょう

# おしながき

地域でオープンデータを推進するためのキーワード

- ① 活用
- ② 公民連携
- ③ 内部での活用
- ④ 可能性



# ①オープンデータの「活用」を考える



オープンデータを公開したものの  
活用事例が生まれない・・・



などということがありえます。

# 活用されないオープンデータがある理由

- ・ きちんとデータが更新されない
  - ・ データフォーマットが自治体によってバラバラ
  - ・ PDFで出されていて読めない、読むのに手間
  - ・ 活用しにくい種類のデータを公開している
- ．．． などなど

# 活用されないオープンデータがある理由

- ・ きちんとデータが更新されない  
→ 更新されるか信用されず、結果使われない
- ・ データフォーマットが自治体によってバラバラ  
→ 他地域へ横展開するのが大変
- ・ PDFで出されていて読めない、読むのに手間  
→ プログラムでデータを読むのに手間がかかる
- ・ 活用しにくい種類のデータを公開している  
→ そもそも活用を考えるのが大変

．．． などなど



では、どうやって活用を推進していこうか



# 既にデータを活用している企業がある！

- ・ 自社のアプリやサービスで活用
- ・ 活用するためにフォーマットを定めている
- ・ ユーザーがついているので、ある程度の安定運用

# 既にデータを活用している企業がある！

- ・ 自社のアプリやサービスで活用
- ・ 活用するためにフォーマットを定めている
- ・ ユーザーがついているので、ある程度の安定運用



公園情報の活用



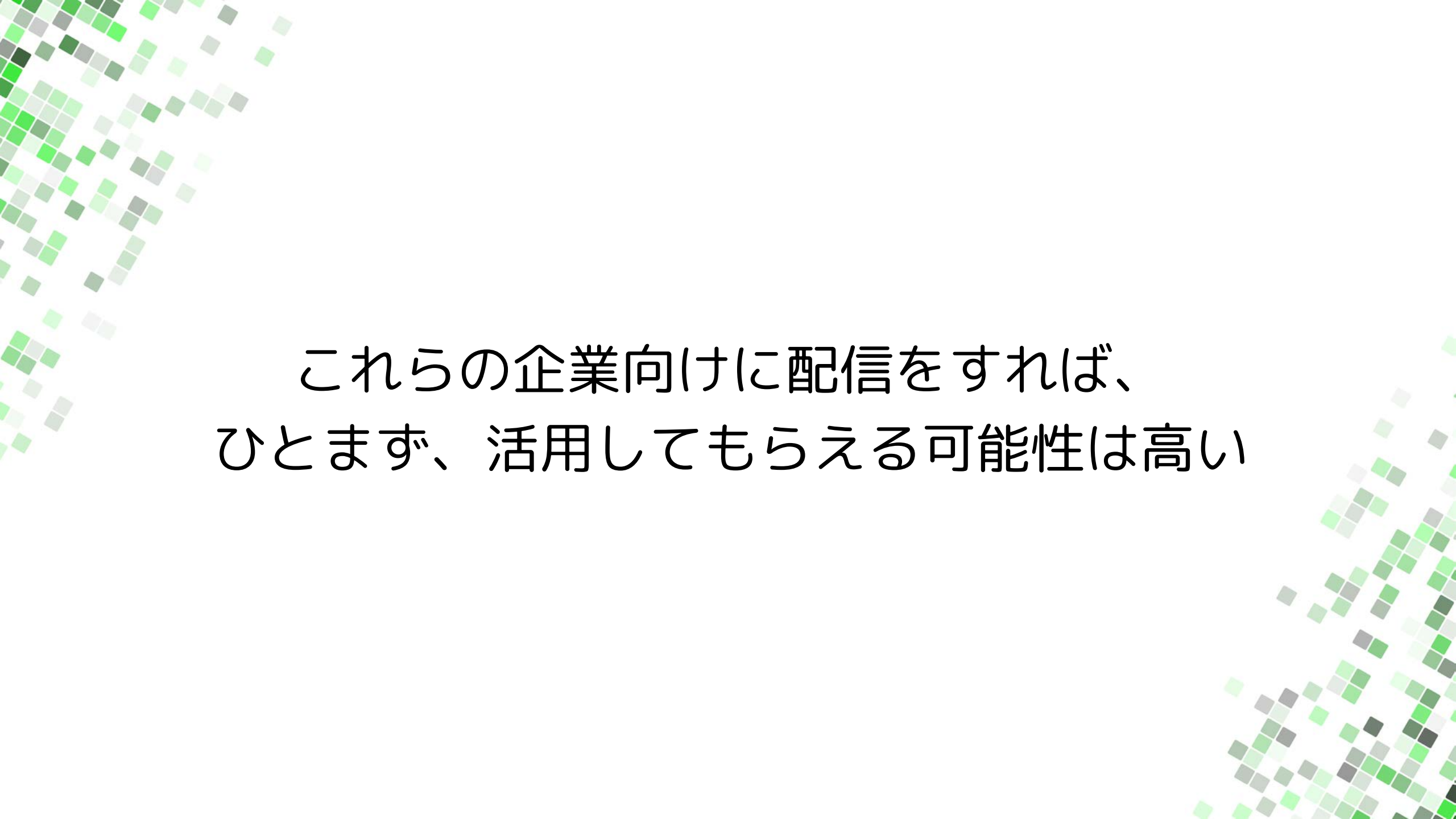
お出かけ情報の活用

Jorte



イベント情報の活用





これらの企業向けに配信をすれば、  
ひとまず、活用してもらえる可能性は高い

# いこーよ（アクトインディ株式会社）

- ・ 自社サービス「いこーよ」にて、お出かけ先の情報＋写真を活用している
- ・ いこーよのお出かけ情報のデータフォーマットを定めているが、推奨データセットに項目を追加したもののなので準備しやすい



# いこーよ（アクトインディ株式会社）

- ・協定を結んでいる自治体もある
- ・神奈川県藤沢市では、別途運用していた子育てサイトの運用をやめて、いこーよを公式の扱いにする形へ移行

藤沢市 Fujisawa City

文字サイズ・色合い変更 音声読み上げ Foreign Language 携帯サイト お問い合わせ

ホーム > 健康・福祉・子育て > 子育て > 親子でお出かけ > お出かけ・イベント情報「いこーよ」

いいね! 9 ツイート 更新日: 2019年5月28日

## お出かけ・イベント情報「いこーよ」

### 「いこーよ」のご紹介

藤沢市では、親子でお出かけできる日本全国の遊び場やファミリー向けのイベント情報が満載のサイト「いこーよ」を通じて、藤沢市内のお出かけスポットやイベント情報をご紹介します。是非ご利用ください。

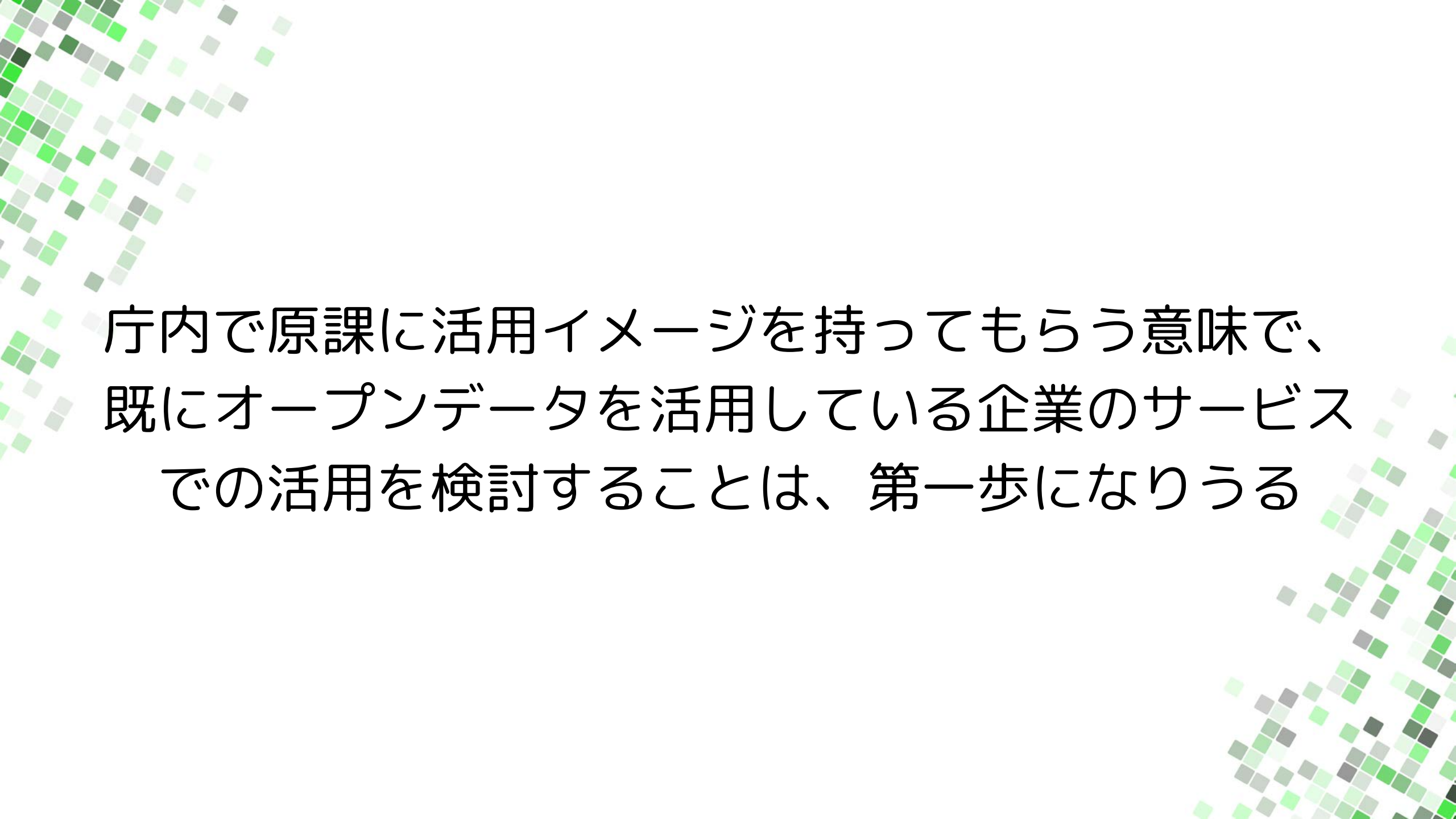
### 「いこーよ」の使い方

まずは、「いこーよ」のサイトを開きます。

[「いこーよ」へのリンク（外部サイトヘリンク）](#)

藤沢市のイベント情報を探す	藤沢市の子育て支援関係施設を探す
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「イベント」をクリック</li><li>2. 検索ワードで「藤沢市」を入力</li><li>3. 細かい条件を入力すれば、欲しい情報だけを検索することも可能です。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「おでかけ」をクリック</li><li>2. 検索ワードで「藤沢市」を入力</li><li>3. 細かい条件を入力すれば、欲しい情報だけを検索することも可能です。</li></ol>

・ イベント情報やお出かけスポットだけでなく、体験談・口コミ・子育てQ&A等さまざまなコンテンツがあります。



庁内で原課に活用イメージを持ってもらう意味で、  
既にオープンデータを活用している企業のサービス  
での活用を検討することは、第一歩になりうる



これらの事例は、政府CIOポータルの  
「オープンデータ100」にも掲載されています。

## 政府CIOポータル

▼ 本文へ

文字サイズの変更: 標準 ☐ 拡大

Language: 日本語 ▼

検索



IT総合戦略室について ▼

お知らせ ▼

政策 ▼

法令 ▼

刊行物 ▼

その他 ▼

政府CIOポータル:ホーム > 刊行物 > 参考資料等 > オープンデータ100

オープンデータ

# オープンデータ100

Total 65件 (2019年9月2日現在)

## ■オープンデータ100について

オープンデータの取組を検討する地域の皆様の参考になるよう、様々な事業者や地方公共団体等によるオープンデータの利活用事例、アクティビティ（全国各地の特筆すべき継続的なイベント・プロジェクト等）を公開しています。

事例及びアクティビティは今後も随時追加されていきますので、ご期待ください。

## ■オープンデータ100候補利活用事例及びアクティビティの募集

利活用事例及びアクティビティをオープンデータ100に登録をご希望の方は、以下の選定基準をご確認の上、データカ

刊行物 ▼

政府共通ルール等 ▼

標準ガイドライン群 >

参考資料等 ▼

オープンデータ100 ✓

ディスカッションペーパー >

関連リンク集 ▼

内閣官房のSNS公式アカウント一覧





## ②オープンデータと「公民連携」を考える



オープンデータは、公民連携の潤滑油になる

# 4919 for Ikoma (2017.9～)

生駒で、自治体と市民（兼学生）が対話を重ねながら完成したアプリ



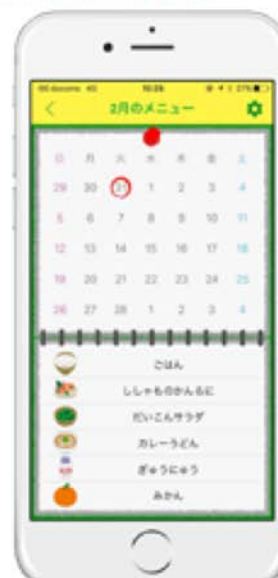
## 4919 for Ikoma

- 子供たちが毎日食べる給食から食育をサポート
- アレルゲンの含まれる献立は自動でお知らせ\*

■ 献立表オープンデータ使用

■ 当日・当月それぞれで献立が確認可能

■ アレルゲンの管理



協創プロジェクト紹介

# IKOMA Civic Tech Award 2016 (2016年度)

★ I T で、生駒の未来をつくろう！ ★

## IKOMA Civic Tech Award 2016

イコマ・シビックテック・アワード 2016





# IKOMA Civic Tech Award 2016 とは

「生駒の地域課題解決」「生駒の魅力発信」をテーマに  
アプリやWebサービス・アイデアを募集。  
優秀な作品を表彰するコンテスト

主催



協力



共催



国立大学法人  
奈良先端科学技術大学院大学  
NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY



メディアスポンサー



企画・運営



協創プロジェクト紹介

# IKOMA Civic Tech Award 2016 (2016年度)



Civic Tech Party

オープンデータ活用の啓発イベント  
(市民への周知・普及活動)



Civic Tech Award

アプリ・アイデアコンテスト  
(有識者による審査会)





# IKOMA Civic Tech Party プレイベント 「オープンデータで街を元気にする方法」

2016.9.24 (Sat) 10:00~11:30

オープンデータ伝道師 / Code for Saga / 株式会社ローカルメディアラボ

牛島 清豪 氏



オープンデータに馴染みのない方向けに、オープンデータの解説・佐賀県での活動事例の紹介などを行なっていただき、その後ミニアイデアソンを行ないました





## IKOMA Civic Tech Party vol.1

# 「FixMyStreetを使って生駒の道路を快適に」

2016.10.1 (Sat) 10:00~11:30

FixMyStreetJapan / Code for Sapporo 川人 隆央 氏

生駒市管理課 課長 岡本 光弘 氏



川人氏からは、生駒市で運用が始まったFixMyStreetについての解説、他都市での活用事例をご紹介いただき、

岡本氏からは生駒市での利用状況と、内部での対応などについてお話いただきました。

その後のパネルディスカッションでは、裏話まで飛び出すなど、盛りだくさんの内容となりました。



## IKOMA Civic Tech Party vol.2

### 「国立国会図書館 関西館 図書館活用法 & 著作権セミナー」

2016.10.22 (Sat) 10:00~11:30

国立国会図書館関西館 文献提供課 課長 南 亮一 氏

同課/参考係 西村 佳樹 氏



生駒市に隣接する精華町にある国会図書館の関西館にて、国会図書館が誇る文献のアーカイブからの検索方法やツールの使い方を学びました。また、情報発信における著作権の扱いと、オープンデータで重要となるクリエイティブ・コモンズについても学び、参加者からも好評でした。



## IKOMA Civic Tech Party vol.3

### 「空中都市が生駒に！？幻の生駒山嶺小都市計画」

2016.11.26（土） 10:30～11:30

広島大学 名誉教授 杉本 俊多 氏



2015年のUDCでも取り上げた「生駒山嶺小都市計画」。当時計画について教えてくださった、市民の本田氏の一言からスタート。計画を策定していた建築家、ブルーノ・タウトの研究をされている杉本先生にお越しいただき、その概要を解説いただきました。計画を再現したCGも作られており、今後のデータ活用が望まれます。イベント前日に先生が生駒山の視察を行ない、メディアも同行するなど、機運が高まるきっかけとなるイベントとなりました。





# IKOMA Civic Tech Party vol.4 「ParmoSenseで街歩き データを集める歴史散歩」

2016.12.17 (土) 13:00~16:00

奈良先端科学技術大学院大学 ユビキタスコンピューティング研究室  
生駒市観光ボランティアガイドの会の皆さん



奈良先端科学技術大学院大学の学生さんが開発したアプリ「ParmoSense」は、簡単に位置情報付きの写真を撮ることができるもの。このアプリを使いながら、生駒市観光ボランティアガイドの会の皆さんに、2つのコースを案内していただきました。地元でありながらも知らないことが沢山あり、観光ボランティアガイドさんのお話は参加者の皆さんにも好評でした。



# ParmoSense (パルモセンス)



街歩きをして、地域の位置情報付きの写真を簡単に収集できるツール。写真を撮影した地点について詳細情報を追加することもでき、JSON・KMLなどエクスポートすることも可能。

奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST) の学生が開発。

NPO法人 伊能社中 西林 直哉 氏



vol.4で集めた位置情報付きの写真を、ParmoSenseの管理画面から編集。参加者のみなんで写真についてコメントを充実させたり、写真に関係するWebページのURLを登録したりして、データの整理を行ないました。整理したデータは、ParmoSenseの管理画面からKML形式でエクスポート。Cesiumに読み込ませると、Earth上に見事に表示され、歓声があがりました。魅力発信に加え、防災の分野でも使えそうという意見も出されています。



# IKOMA Civic Tech Award 2016

応募作品の中から最終審査会を実施

最終審査会には、学生からリタイア後の方まで幅広い年齢層の方が参加



しょくいく  
4919 for Ikoma

- 生駒市の給食献立やカロリー、アレルギー、栄養バランスなどをかわいいイラストとともに手軽に確認できるアプリ



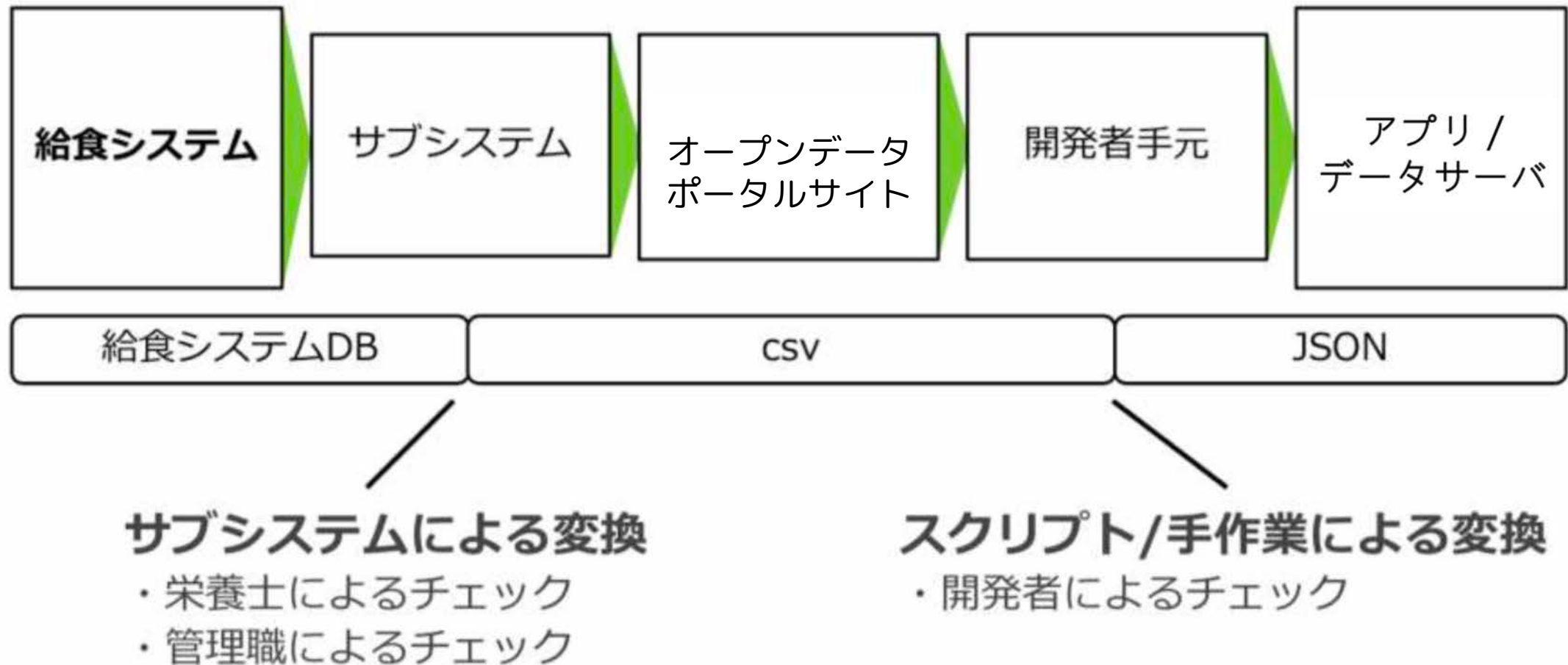
Code for 発 goro合わせシリーズ!?  
目指せ！第2の5374.jp

推奨データセットとして、  
給食の献立メニューも整備中！

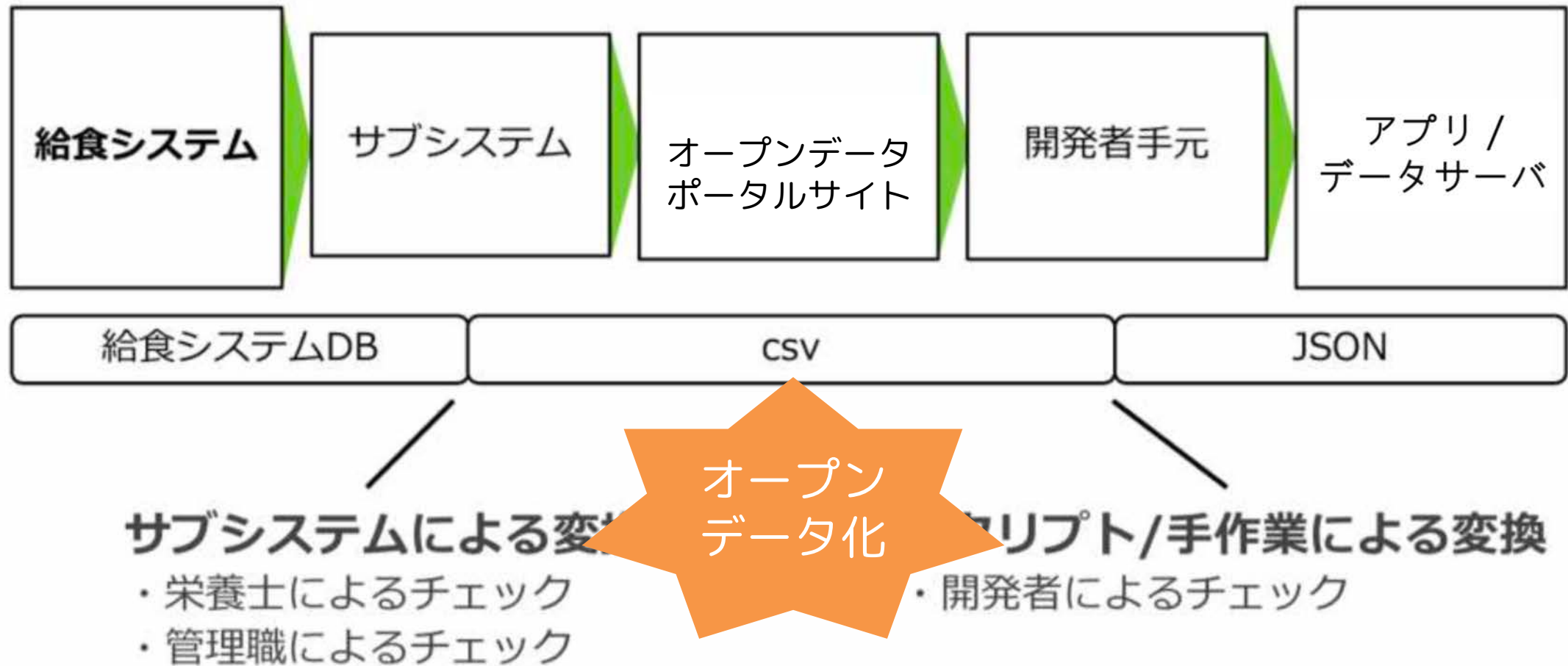




## サービス開始にあたり、開発側と市役所で データの流を調整し実現



# サービス開始にあたり、開発側と市役所で データの流を調整し実現



# 4919 for Ikomaにおける協働

「生駒発のプロダクトを世に送り出したい！」という  
共通の思いがオープンデータを通じて連携した



栄養士



市役所



アプリ開発者





③オープンデータの「内部での活用」を考える

## Case1

ご自身の部署で政策を立てる際、  
みなさん「分析」をされると思います。




現状やこれまでの状況を踏まえて、政策を立てますよね。



## Case1

政策立案したいので、分析のために  
こんなデータを使いたい！というシーンがあるはず





## Case1

でも、そのデータってどこにあるのか分からない…

## Case1

でも、そのデータってどこにあるのか分からない…

わざわざ、持ってそうな課に  
問い合わせするのも手間…。








## Case1

そこで、オープンデータ！



## Case1

オープンデータになっていれば・・・

- ・ データカタログで検索して自由に使える
- ・ 知らなかったデータも見つかる可能性



庁内の業務効率化へ



## Case2

どの自治体においても  
情報公開請求があると思います。

公開可能なものは、対応しなくてはいいけませんよね。



## Case2


対応にはコストがかかるし、  
タイミングも分からないので  
突発的な仕事が大変・・・





## Case2

そこで、オープンデータ！





## Case2

情報公開請求になったデータが、オープンデータになっていれば・・・

- ・ 公開されている場所（データカタログ）を案内するだけで対応完了
- ・ 請求件数が多いものについて対応しておけばOK

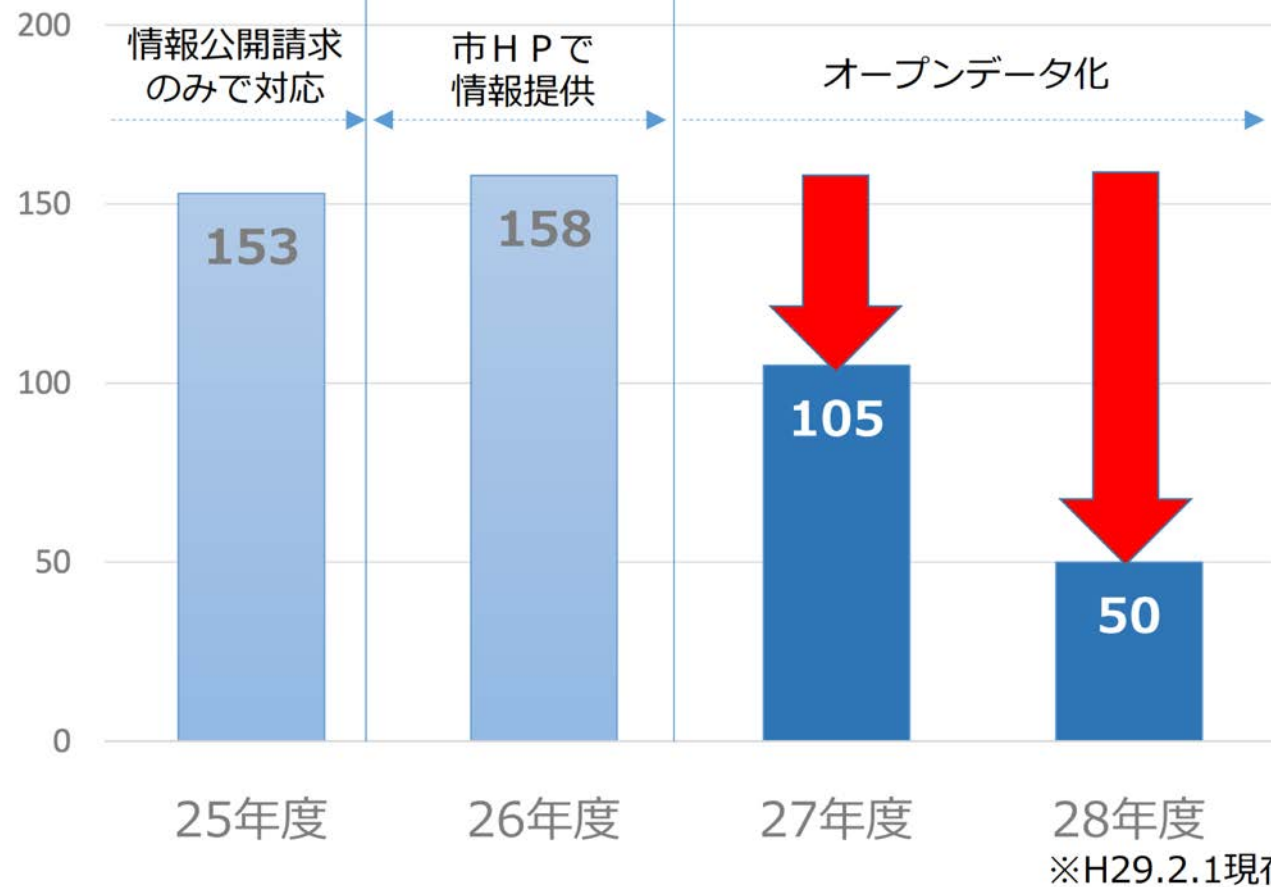


庁内の業務効率化に！

## Case2

静岡市では、情報公開  
請求が多い情報  
（食品営業許可申請情  
報）をオープンデータ  
で公開。  
請求件数を大幅削減。

### 食品衛生営業関係許可に係る情報公開請求件数



## Case2

情報公開請求件数の  
減少は、業務時間の  
削減につながった。

オープンデータ提供の効果

情報公開請求件数の減少



情報公開請求に係る事務時間の削減



業務の効率化

＜情報公開処理事務に係る処理時間＞

1件あたり 約3.0時間

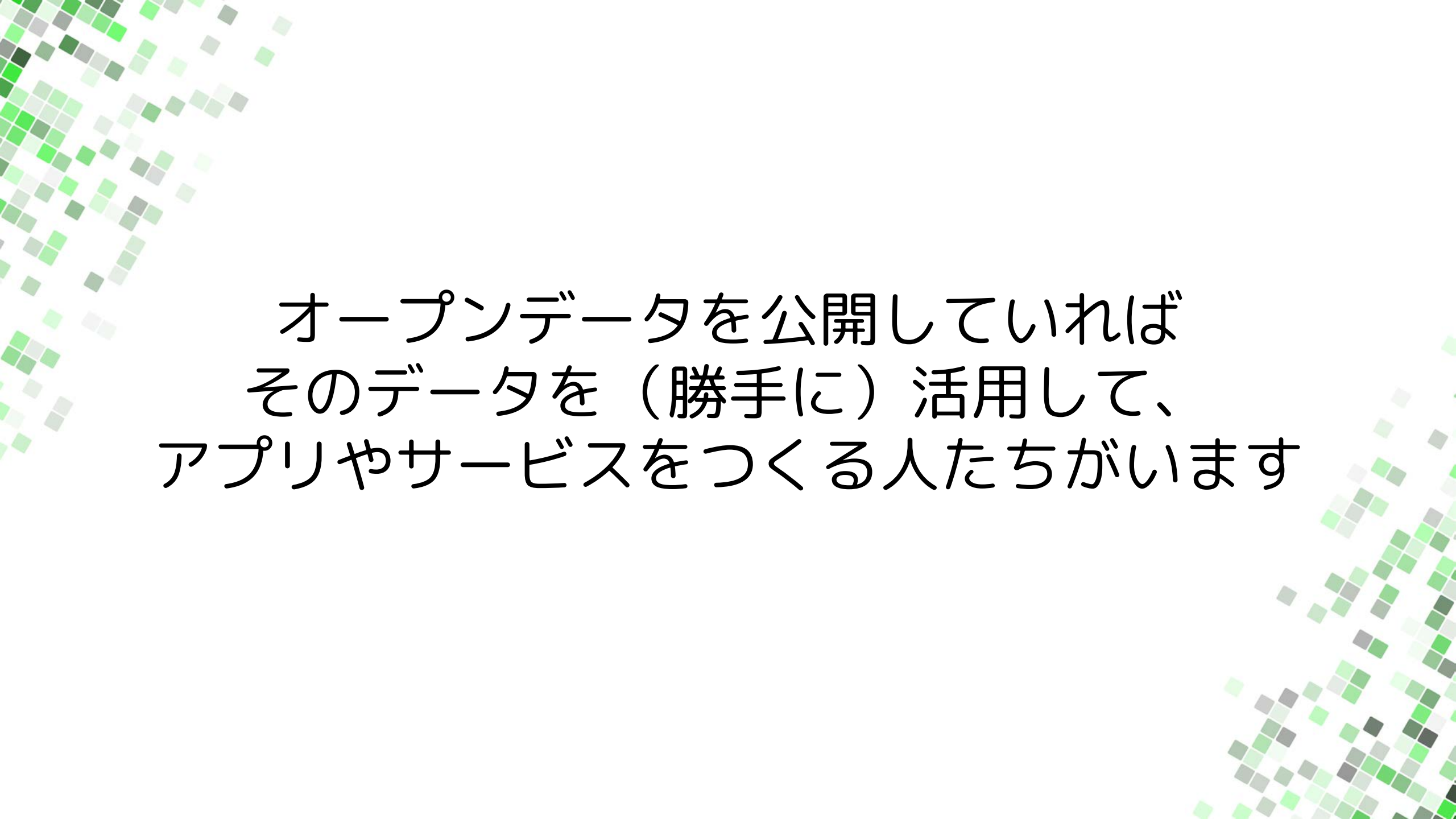
内訳：受付・抽出事務 約1.0時間、決裁事務 約1.0時間、提供事務 約1.0時間

**年間100件減少 → 約300時間の効率化**



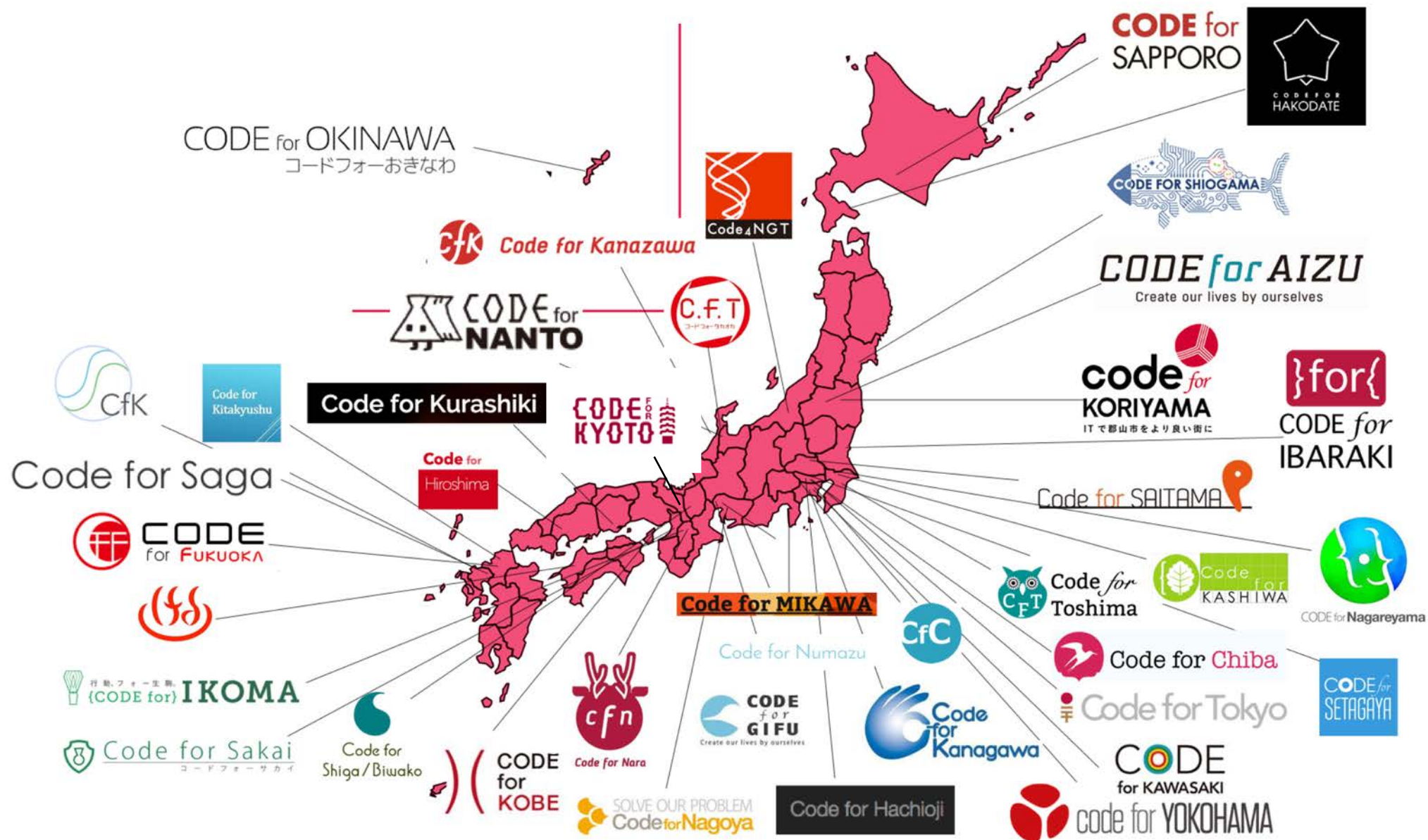
## ④オープンデータの「可能性」を考える





オープンデータを公開していれば  
そのデータを（勝手に）活用して、  
アプリやサービスをつくる人たちがいます

# 80地域近くでシビックテック団体が活動

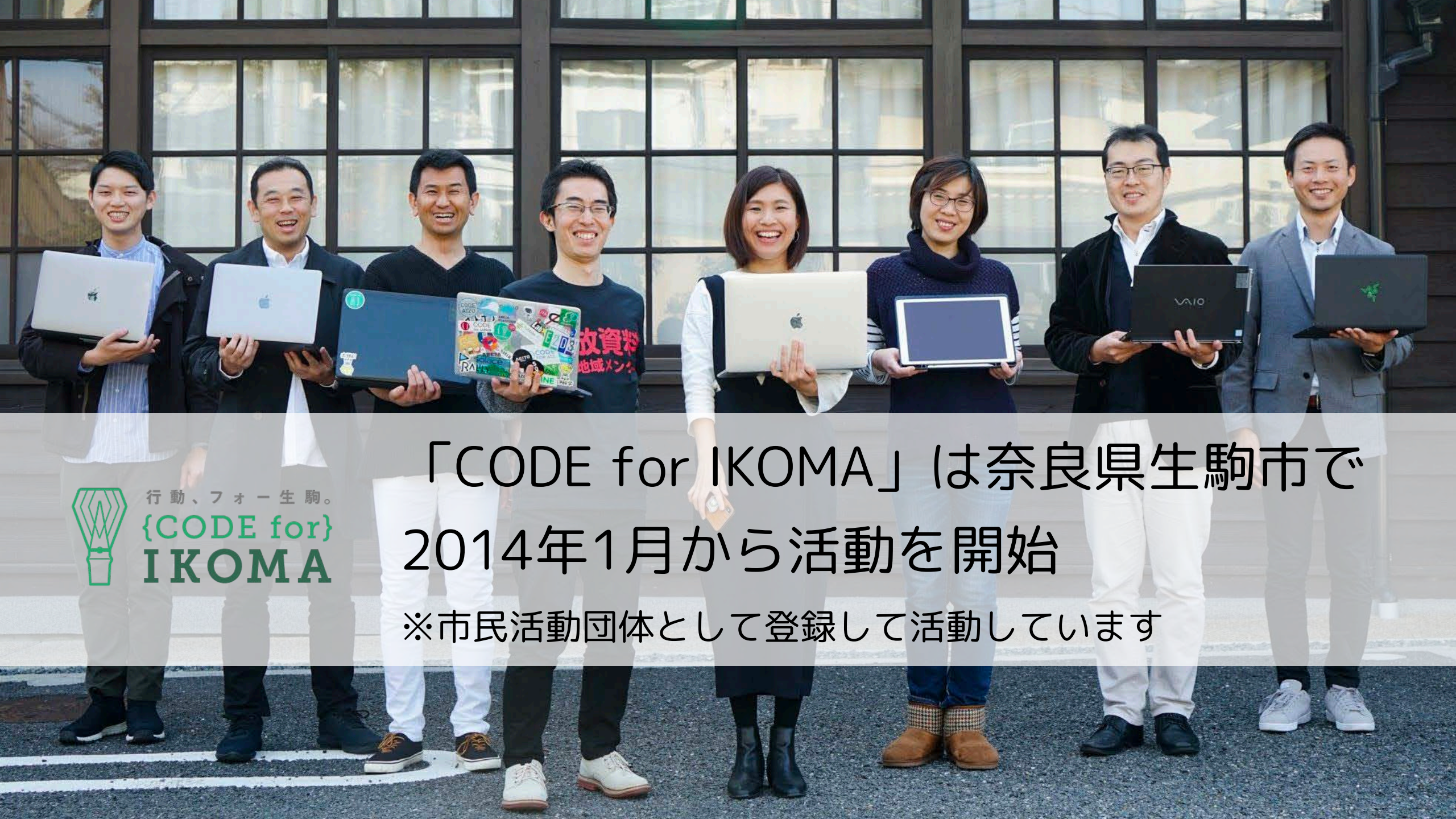


{ } CODE  
for JAPAN

CODE  
for Youth

Code for 選挙





# 「CODE for IKOMA」は奈良県生駒市で 2014年1月から活動を開始

※市民活動団体として登録して活動しています



# 活動に参加している人たち

- 自営業 / フリーランス
- 学生
- 主婦
- リタイア後の方
- 会社勤めの人（個人的な立場で）



# コミュニティのポリシー

- 各自がやりたいことをやる
- できる時に活動する
- 上下関係のないフラットな場
- 活動内容がオープンである、ということ



# 事例

- Cases -

# 5374.jp (ゴミナシ)

いつ、どこでどのゴミが捨てられるのか。が簡単に分かるアプリ。(2013年9月公開)

全国100都市以上に展開している。

必要なデータ：ゴミの回収日、ゴミの種類



Code for Kanazawaのエンジニアチームが開発



# さっぽろ保育園マップ



こどもをどこに預ければいいんだろう？という長年の悩みから開発  
(2014.10 公開)

必要なデータ：保育園の位置情報や  
定員等の情報など

- 札幌以外の地域のマップもあります
- ・ほっかいどう保育園マップ【作成中】
  - ・つくば保育園マップ
  - ・ながれやま保育園マップ
  - ・横浜市金沢区保育園マップ
  - ・いこま保育園マップ
  - ・とくしま保育園マップ
  - ・おきなわ子育てマップ

CODE for  
SAPPORO

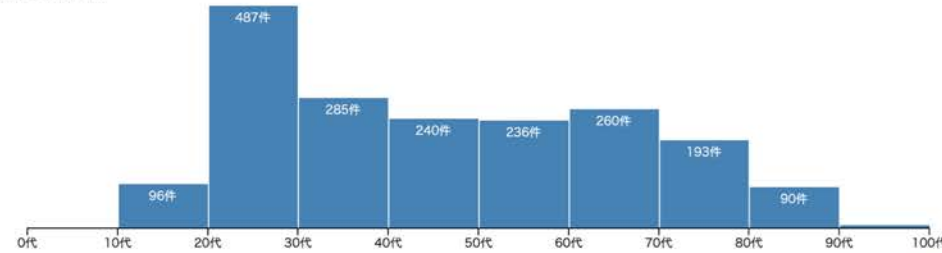
Code for Sapporoのママさんが中心となって開発



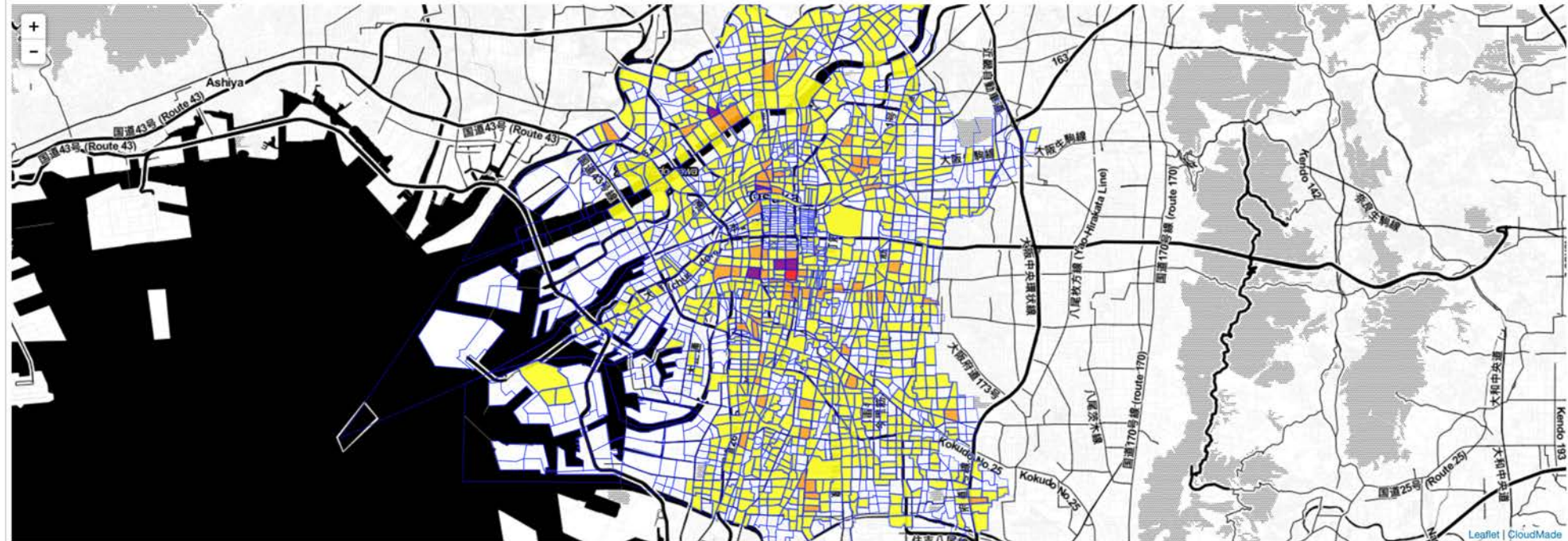
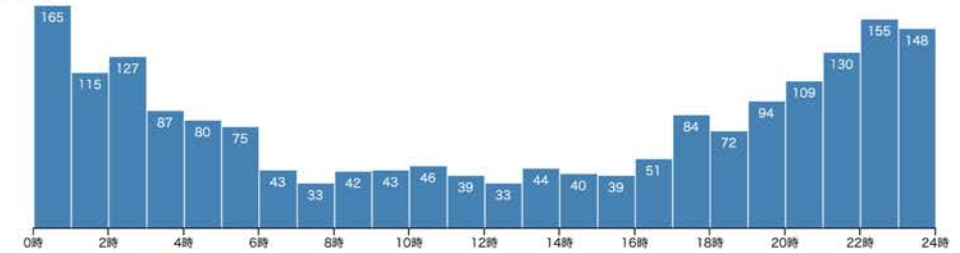
# 大阪ひったくりマップ

大阪市ひったくり事件発生個所データ

被害者の年齢（年代）



事件発生時刻



data by 大阪市の犯罪発生情報 © shimizu

ひったくり発生場所、件数などのデータを元に可視化 <https://shimz.me/datavis/osakaSnatching/>



# シビックパワーバトル



オープンデータを活用し、データで裏付けながら街の魅力をPRする <https://www.civicpowerbattle.org/>

# アーバンデータチャレンジ



URBAN DATA  
CHALLENGE

UDCとは? UDC2019 ニュース 実行委員 UDCラボ 資料提出

今後のイベント

最新のUDC ▼

インフラデータチャレンジ

過去のUDC ▼

関連データ ▼

## URBAN DATA CHALLENGE 2019

### ハイライト

[highlight](#)

2019年7月4日

[【メディア掲載】GeoNewsにキックオフ・イベントの様子が紹介されました](#)

2019年4月24日


### ニュース

[news](#)

2019年7月23日

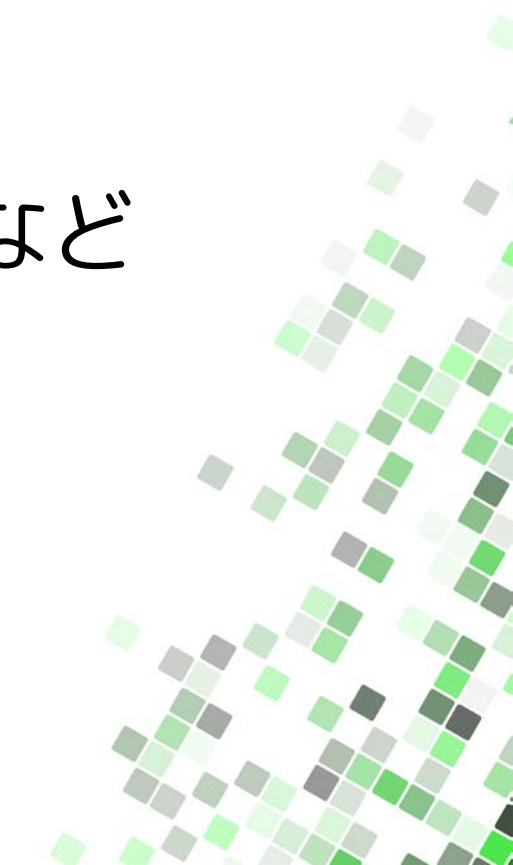
[【連携機関】「GLAMデータを使い尽くそうハッカソン at 国立国会図書館」の参加者を募集（8/25締切）しています！](#)

オープンデータを活用し、地域課題解決にチャレンジするコンテスト <https://urbandata-challenge.jp/>

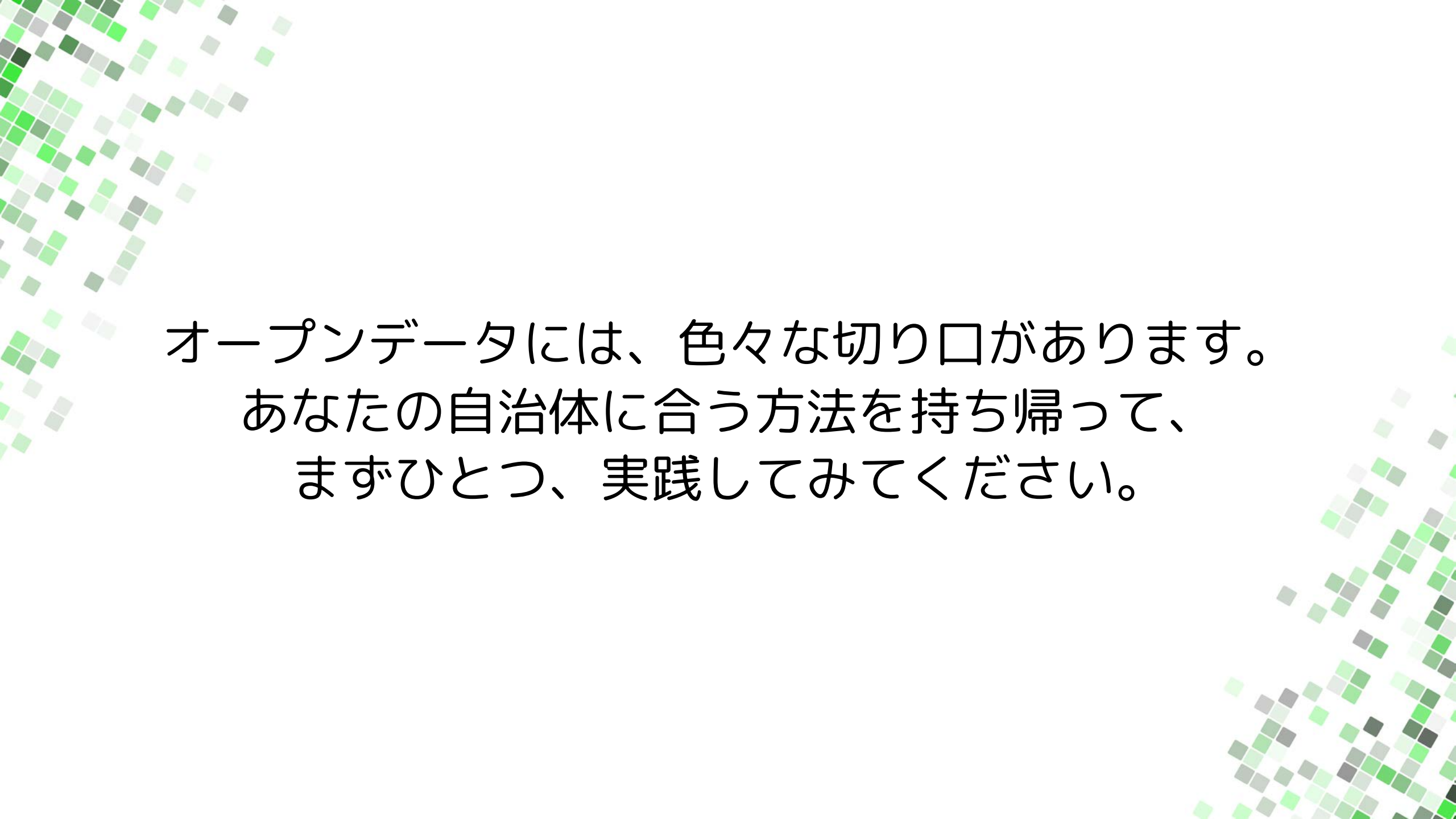


オープンデータは、アプリにだけ  
利用されるわけではありません。

データの可視化・分析やアイデアの発想など  
様々な場面で使われます。







オープンデータには、色々な切り口があります。  
あなたの自治体に合う方法を持ち帰って、  
まずひとつ、実践してみてください。



(付録)

# オープンデータの推進にオススメのプログラム

## 地域情報化アドバイザー派遣制度

- 地域が抱える様々な課題を解決するため、ICTを活用した取組を検討する地方公共団体等からの求めに応じ、ICTの知見等を有する「地域情報化アドバイザー」を派遣し、ICT利活用に関する助言等を行う。

### 派遣の仕組み



※平成31年度の総務省地域情報化アドバイザーは207名。

### 派遣団体数







# CODE for JAPAN SUMMIT 2019


2019.9.28(sat.)-29(sun.)  
@ 神田外語大学



Code for Japan Summit 2019  
9/28~29 @千葉・幕張







ありがとうございました！

Special thanks

いらすとや (<https://www.irasutoya.com/>)